



2020年度 第3四半期決算説明資料

対象期間：2020.4.1-12.31

2021.2.9

明治ホールディングス株式会社

2020年度 第3四半期連結決算のハイライト

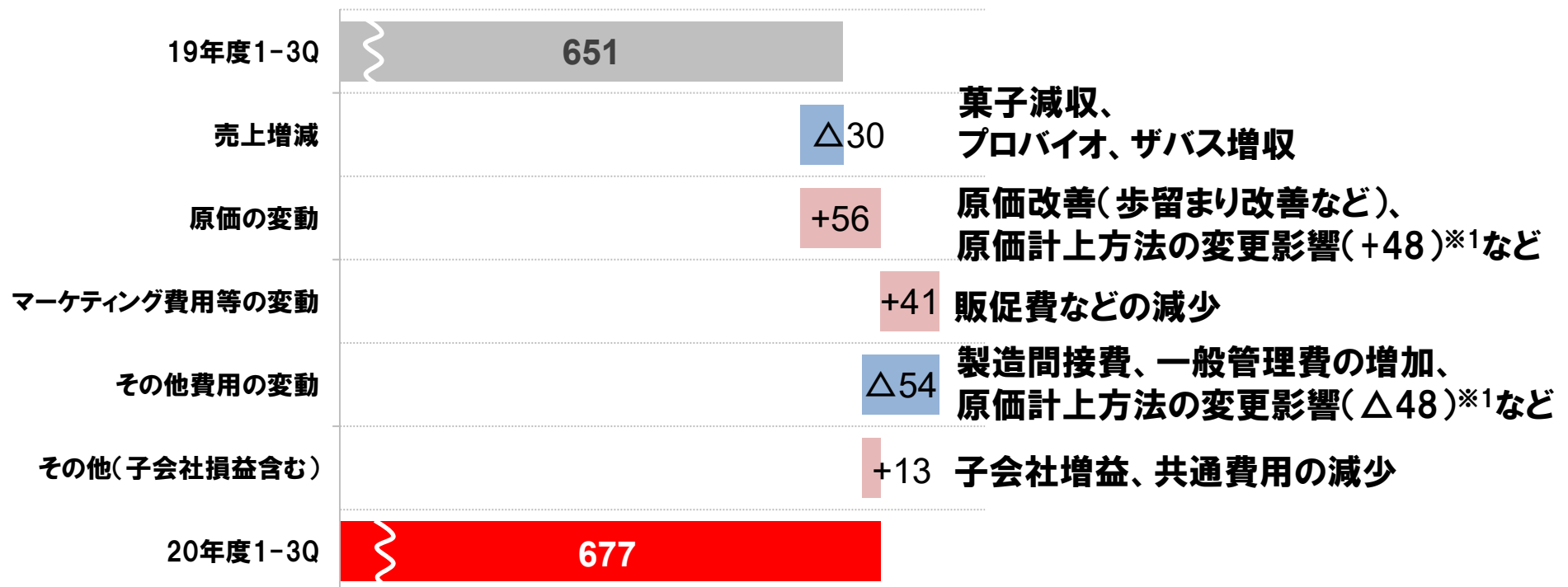


(億円)	19年度 1-3Q実績	20年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	9,511	9,007	△5.3% △504
営業利益	803	832	+3.6% +28
営業利益率	8.4%	9.2%	+0.8pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	524	494	△5.8% △30
EPS	361.54円	340.54円	△21.00円

- **3Q累計実績：減収、営業利益は増益**
 - 売上高は食品、医薬品ともに減収
 - 営業利益は食品、医薬品ともに増益
 - 四半期純利益は税金費用の増加や非支配株主に帰属する利益の影響により減益

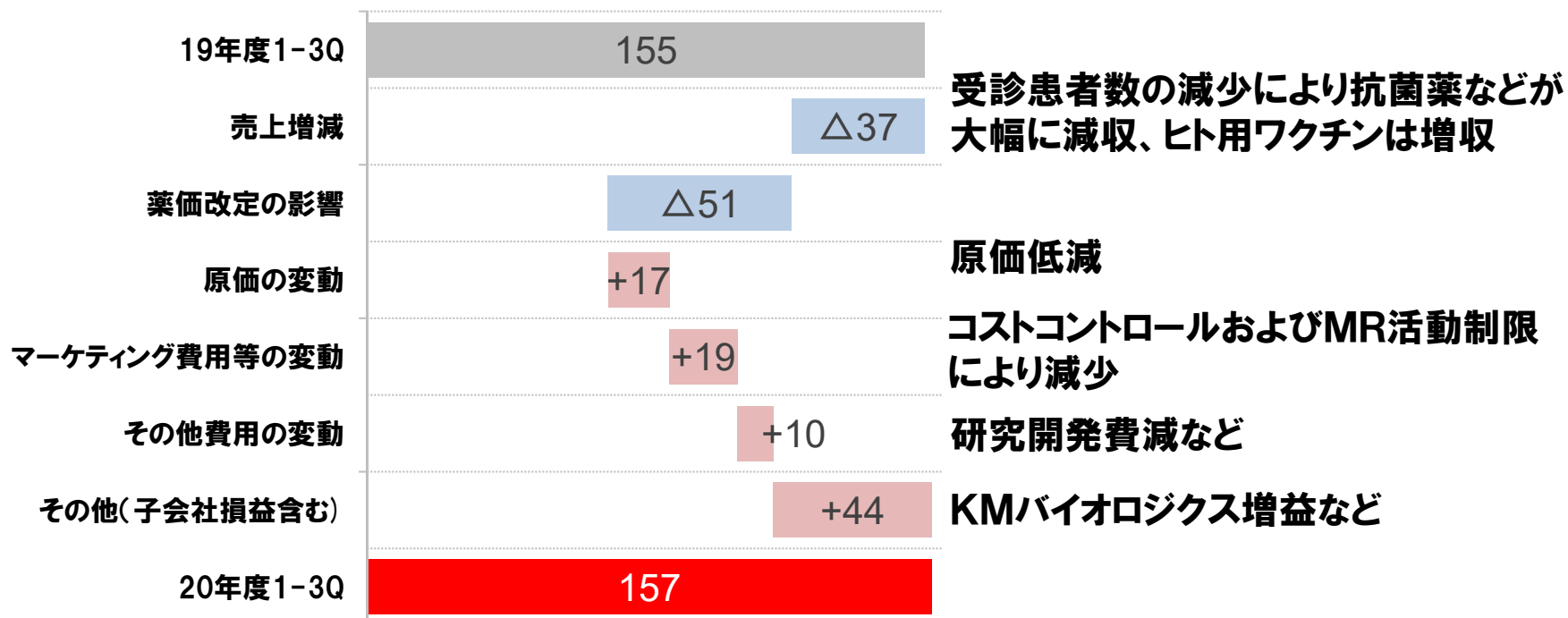
(億円)	19年度 1-3Q実績	20年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	7,966	7,584	△4.8% △382
営業利益	651	677	+4.0% +26

営業利益増減分析 (億円)



(億円)	19年度 1-3Q実績	20年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	1,554	1,434	△7.7% △120
営業利益	155	157	+1.0% +1

営業利益増減分析 (億円)



2020年度 通期連結見通し



(億円)	19年度 実績	20年度 期初計画	20年度 修正計画	20年度	
				前年同期比	期初計画比
売上高	12,527	12,530	12,000	△4.2% △527	△4.2% △530
営業利益	1,027	1,100	1,060	+3.2% +32	△3.6% △40
営業利益率	8.2%	8.8%	8.8%	+0.6pt	+0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	673	695	660	△2.0% △13	△5.0% △35
EPS	464.08円	479.05円	454.90円	△9.18円	△24.15円
1株当たり配当金	150円	150円	150円	—	—
配当性向	32.3%	31.3%	33.0%	+0.7pt	+1.7pt
ROE	12.4%	12.0%	11.5%	△0.9pt	△0.5pt
設備投資額	711	852	693	△2.5% △17	△18.6% △158
営業CF	1,141	1,209	1,169	+2.4% +28	△3.3% △40
フリーCF	432	12	167	△61.5% △266	+1288.3% +155

● 連結見通し：売上高、営業利益ともに減額修正

2020年度 通期連結見通し セグメント別



(億円)

		1-3Q 実績	前年 同期比	4Q 修正計画	前年 同期比	通期 期初計画	通期 修正計画	前年 同期比	期初 計画比
連 結	売上高	9,007	△5.3% △504	2,992	△0.7% △22	12,530	12,000	△4.2% △527	△4.2% △530
	営業利益	832	+3.6% +28	227	+1.8% +3	1,100	1,060	+3.2% +32	△3.6% △40
	経常利益	843	+3.2% +26	236	+9.6% +20	1,110	1,080	+4.5% +46	△2.7% △30
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	494	△5.8% △30	165	+11.5% +17	695	660	△2.0% △13	△5.0% △35
食 品	売上高	7,584	△4.8% △382	2,515	△0.5% △13	10,414	10,100	△3.8% △395	△3.0% △314
	営業利益	677	+4.0% +26	232	+4.7% +10	930	910	+4.2% +36	△2.2% △20
医 薬 品	売上高	1,434	△7.7% △120	480	△1.7% △8	2,123	1,915	△6.3% △128	△9.8% △208
	営業利益	157	+1.0% +1	2	△33.8% △1	180	160	+0.1% +0	△11.1% △20

● 両セグメントとも期初計画から20億円の減益見込み

(億円)	1-3Q	
	実績	前年同期比
売上高	2,416	△0.8% △18
営業利益	407	+26.9% +86

	通期		
	修正計画	前年同期比	期初計画比
売上高	3,218	△1.8% △60	+0.1% +3
営業利益	551	+13.8% +66	+1.2% +6

●市場※

ヨーグルト: 1Qの伸びが寄与し+2~3%の伸び。3Qは前年割れ

牛乳類: 1Qの伸びが寄与し+4~5%の伸び。3Qは前年並み

●売上高

プロバイオ、「ザバスミルク」が増収だが牛乳の終売品影響により前期並み

●営業利益

販促費や減価償却費などの減少により増益

●売上高

ヨーグルト、プロバイオともに期初計画を下回るが、「おいしい牛乳」や「ザバスミルク」が好調で全体では期初計画並み

●営業利益

プロダクトミックスは悪化するが、販促費および減価償却費などの減少により期初計画を達成の見込み

(億円)	1-3Q 実績	前年同期比
売上高	1,382	△0.6% △7
営業利益	63	△17.0% △12

	通期 修正計画	前年同期比	期初計画比
売上高	1,808	+1.4% +24	+0.0% +0
営業利益	75	△9.7% △8	△18.4% △17

●市場

チーズ:+11~12%、プロセスも伸びるがナチュラルが特に好調

アイスクリーム:巣ごもり需要によりマルチタイプが好調で+3~4%

●売上高

チーズ、アイスクリームともに市販は増収だが業務用商品の不調により全体では前期並み

●営業利益

物流費、減価償却費などの増加により減益

●売上高

チーズ、アイスクリームは期初計画を下回るものの、市販用バターや業務用クリームなどが伸長し全体では期初計画並みを見込む

●営業利益

販促費の増加により期初計画から減益を見込む

(億円)	1-3Q 実績	前年同期比
売上高	823	△7.7% △68
営業利益	98	△32.4% △47

	通期 修正計画	前年同期比	期初計画比
売上高	1,162	△4.2% △50	△6.2% △76
営業利益	156	△17.6% △33	△20.6% △40

●市場

チョコレート:大袋が好調で小売店頭経路は+2~3%だが、鉄道売店などの経路が押し下げ

●売上高

チョコレートは減収ながら回復傾向。グミやガムはオフィス需要などの減少により 大幅な減収

●営業利益

販促費などの経費削減に努めるも減収影響により減益

●売上高

チョコレートは回復傾向だが期初計画には届かず。グミやガムは大幅な減収の見込み

●営業利益

経費削減に努めるも減収により期初計画から減益の見込み

(億円)	1-3Q 実績	前年同期比
売上高	727	+1.9% +13
営業利益	131	△3.6% △4

	通期 修正計画	前年同期比	期初計画比
売上高	939	+3.6% +32	+1.6% +15
営業利益	159	+1.4% +2	+12.9% +18

●市場

プロテイン:運動不足解消ニーズにより
+40~41%

乳幼児ミルク:幼児用ミルクの不調により
△2~3%

●売上高

「ザバス」が好調に推移するも、乳幼児ミルクや「ヴァーム」が不調

●営業利益

減価償却費などの増加により減益

●売上高

「ザバス」は期初計画から大幅な増収を見込む。乳幼児ミルクは期初計画から減収見込み

●営業利益

増収に加え、製造間接費が期初計画から減少する見込み

(億円)	1-3Q	
	実績	前年同期比
売上高	368	+2.7% +9
営業利益	12	+0.4% +0

	通期		
	修正計画	前年同期比	期初計画比
売上高	502	+3.8% +18	△7.0% △37
営業利益	12	△27.7% △4	△32.4% △5

●売上高

中国:アイスクリーム事業は好調。牛乳・ヨーグルト事業は減収だが回復基調。菓子事業は婚礼市場向けの低迷などにより前年割れ

米国:堅調な動き

●営業利益

中国の菓子事業や牛乳・ヨーグルト事業は苦戦したがアイスクリーム事業や米国子会社が増益となり前期並み

●売上高

中国のアイスクリーム事業は期初計画を上回るが、その他の事業は下回る見込み

●営業利益

減収や販促費等の増加により期初計画から減益の見込み

(億円)		1-3Q		通期		
		実績	前年同期比	修正計画	前年同期比	期初計画比
国内	売上高	1,048	△4.3% △46	1,344	△5.2% △74	△7.5% △109
	営業利益	26	△72.5% △71		25	△74.2% △71
KMバイオ	売上高	327	+10.7% +31	434	+7.2% +29	+0.2% +1
	営業利益	75	+246.0% +53		65	+66.7% +26

● **売上高**
 受診抑制の影響が継続し抗菌薬が不調。「リフレックス」も薬価改定影響により減収。ヒト用ワクチンは好調に推移

● **営業利益**
 国内事業は経費を削減するも減収や薬価改定影響により減益。KMバイオは大幅増益

● **売上高**
 国内事業は受診抑制の継続により期初計画を大幅に下回る見込み。KMバイオは期初計画並み

● **営業利益**
 国内事業は減収により、大幅に期初計画を下回る見込み。KMバイオは期初計画から大幅増益

(億円)	1-3Q	
	実績	前年同期比
売上高	281	△15.5% △51
営業利益	36	+44.0% +11

	通期		
	修正計画	前年同期比	期初計画比
売上高	380	△12.7% △55	△19.9% △94
営業利益	49	+79.5% +21	△15.9% △9

- **売上高**
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中国子会社で大幅な減収
- **営業利益**
インドネシアやインドの子会社の経費削減が寄与し増益

- **売上高**
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各社とも期初計画を下回る見込み
- **営業利益**
経費削減を進めるも、減収影響により期初計画からは減益の見込み

● 経緯

12月4日	小林化工(製造販売元)から睡眠導入剤混入報告
12月9日	処方患者さま(344名)を特定し、服薬中止の確認を完了
1月末現在	小林化工製造品を出荷停止中

● 今期業績への影響

売上高: マイナス約15億円

● KMバイオロジクスの不活化ワクチン[※]開発状況

- 2020年5月、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の公募事業に採択されワクチン開発をスタート
- 2020年7月、厚生労働省「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の公募に採択され生産体制の整備を開始
- 非臨床で有効性を確認し、現在治験薬を製造中。年度内に臨床試験（Phase1/2）を開始し、2023年度の上市を目指す



菊池研究所 製造棟

培養設備等によりワクチン原液を製造

● アストラゼネカ社開発ワクチンの国内供給に関する契約を締結

- KMバイオロジクスはアストラゼネカ社から供給されるワクチン原液の製剤化（バイアル充填・包装）を実施
- Meiji Seika ファルマは保管・配送を実施。KMバイオロジクスが製剤化する分を含め、1億2,000万回分を国内に供給する予定。必要に応じて情報提供や安全性情報の収集も実施



合志事業所

ワクチンの瓶詰め、包装工程を実施

※ 不活化ワクチンとは、大量に培養されたウイルスや細菌からウイルス粒子や細菌の菌体を集めて精製した後、加熱やホルマリン等の薬剤を用いて処理をし、感染力や毒力をなくした病原体やその成分で作ったワクチン。

参考資料

2020年度 第3四半期連結財政状態



(億円)	20年12月末 実績	前期末比	主な内容
流動資産	4,739	+13.7% +570	・受取手形及び売掛金(+338) ・現金及び預金(+206)
固定資産	6,227	+7.0% +407	・投資有価証券(+374) ・建設仮勘定(+46) ・機械装置及び運搬具(+34) ・建物及び構築物(△29)
資産合計	10,966	+9.8% +977	—
流動負債	3,090	+20.5% +525	・コマーシャル・ペーパー(+270) ・短期借入金(+170)
固定負債	1,552	+7.2% +103	・社債(+100)
負債合計	4,642	+15.7% +629	—
株主資本	5,810	+4.9% +273	・利益剰余金(+267)
その他の包括利益 累計額	137	+51.9% +47	・その他有価証券評価差額金(+53) ・退職給付に係る調整累計額(+24) ・為替換算調整勘定(△29)
非支配株主持分	376	+8.0% +27	—
純資産合計	6,324	+5.8% +348	—
有利子負債	1,595	+49.4% +527	・コマーシャル・ペーパー(+270) ・短期借入金(+170) ・社債(+100)
自己資本比率	54.2%	△2.1pt	—

2020年度 第3四半期連結CF



(億円)	20年度 1-3Q実績	前年同期比	主な内容
営業キャッシュフロー	642	+60	<ul style="list-style-type: none"> ・法人税等の支払額(+138) ・減価償却費(+17) ・売上債権の増加(△146) ・たな卸資産の増加(△42)
投資キャッシュフロー	△733	△241	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の取得による支出(△309) ・有形固定資産の取得による支出(+72) ・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(+21)
フリーキャッシュフロー	△91	△180	—

(億円)	食品全体	発酵 ディリー	加工食品	菓子	栄養	海外	その他 国内 子会社	全社 共通費	
19年度1-3Q 営業利益	651	321	75	145	136	12	29	△69	
前年 増減額	売上増減	△30	+8	+2	△50	+6	+3	—	+0
	原価の変動	+56	+12	+5	+30	+14	△1	—	△4
	経費等の増減	△13	+57	△21	△21	△24	△5	—	+0
	マーケティング費用等 の変動	+41	+38	△9	+11	△0	△3	—	+4
	その他費用の変動 (内、研究開発費)	△54 (+0)	+20	△12	△32	△23	△2	—	△4
	その他 (子会社損益など)	+13	+8	+0	△6	△1	+3	△1	+10
20年度1-3Q 営業利益	677	407	63	98	131	12	28	△64	

原価計上方法変更影響を除く

(億円)	食品全体	発酵 ディリー	加工食品	菓子	栄養	海外	その他 国内 子会社	全社 共通費	
19年度1-3Q 営業利益	651	321	75	145	136	12	29	△69	
前年 増減額	売上増減	△30	+8	+2	△50	+6	+3	—	+0
	原価の変動	+8	+12	△2	+0	+3	△1	—	△4
	経費等の増減	+35	+57	△14	+9	△13	△5	—	+0
	マーケティング費用等 の変動	+41	+38	△9	+11	△0	△3	—	+4
	その他費用の変動 (内、研究開発費)	△6 (+0)	+20	△5	△2	△12	△2	—	△4
	その他 (子会社損益など)	+13	+8	+0	△6	△1	+3	△1	+10
20年度1-3Q 営業利益	677	407	63	98	131	12	28	△64	

(億円)	1-3Q		通期			
	実績	前年同期比	期初計画	修正計画	前年同期比	期初計画比
ヨーグルト	643	+1.0%	879	848	+0.5%	△3.5%
明治ブルガリアヨーグルト	587	+1.9%	797	772	+1.4%	△3.1%
プロバイオティクスヨーグルト	840	+8.6%	1,175	1,147	+3.4%	△2.3%
牛乳類	842	△3.4%	1,044	1,106	△2.5%	+5.9%
明治おいしい牛乳	476	+7.4%	589	623	+7.5%	+5.6%
チーズ	286	△0.4%	390	379	+1.3%	△2.8%
明治北海道十勝チーズ	120	+6.7%	161	158	+7.8%	△1.6%
アイスクリーム	364	△0.4%	473	448	+1.1%	△5.3%
チョコレート	691	△1.3%	1,000	975	+0.4%	△2.5%
栄養食品	452	△1.4%	605	583	△0.8%	△3.6%
スポーツ栄養	193	+17.6%	206	251	+22.3%	+21.7%

(億円)

	1-3Q 実績	前年 同期比	通期 期初計画	通期 修正計画	前年 同期比	期初 計画比
国内医療用医薬品(Meiji Seika ファルマ単体実績)						
シクレスト	31	△2.9%	52	42	△1.9%	△17.7%
ピラノア	38	+0.8%	106	69	△4.0%	△34.6%
リフレックス(GE含む)	50	△25.1%	66	66	△22.4%	+0.8%
メイアクト(GE含む)	21	△47.3%	52	29	△44.7%	△42.7%
タゾピペ	47	△30.4%	80	62	△14.8%	△22.7%
ヒト用ワクチン計	306	+34.9%	302	338	+29.3%	+11.9%
インフルエンザHAワクチン	195	+28.7%	151	191	+28.8%	+26.7%
KMバイオロジクス(単体実績)						
ヒト用ワクチン計	237	+23.4%	310	316	+18.7%	+1.9%
血漿分画製剤計	58	△2.1%	76	74	△6.1%	△2.7%

2020年度 連結営業利益増減分析 2/9修正計画



(億円)	連結	食品	医薬品	他
19年度実績	1,027	873	159	△6
売上増減	△54	△24	△30	—
薬価改定	△58	—	△58	—
原価の変動	+94 ^(*1)	+76	+18	—
経費等の増減	+7 ^(*2)	△19	+26	—
その他(子会社損益含む)	+44	+4	+45	△4
20年度計画	1,060	910	160	△10

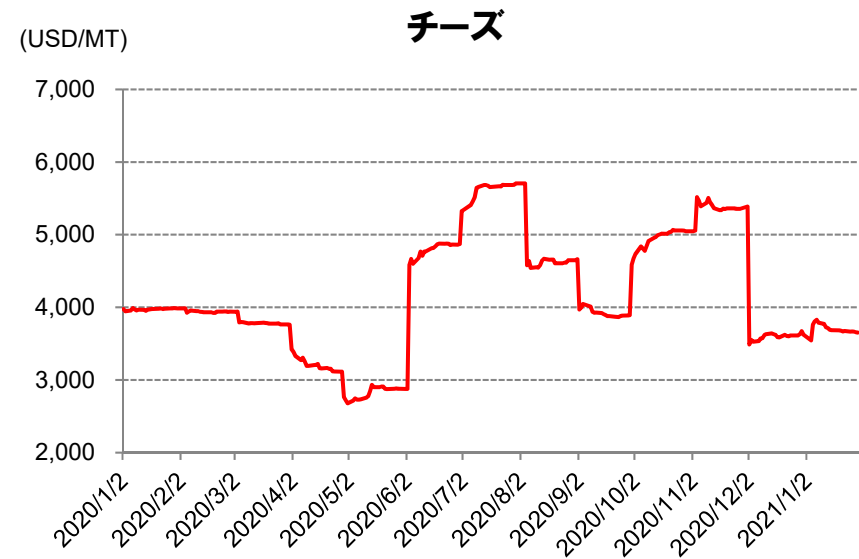
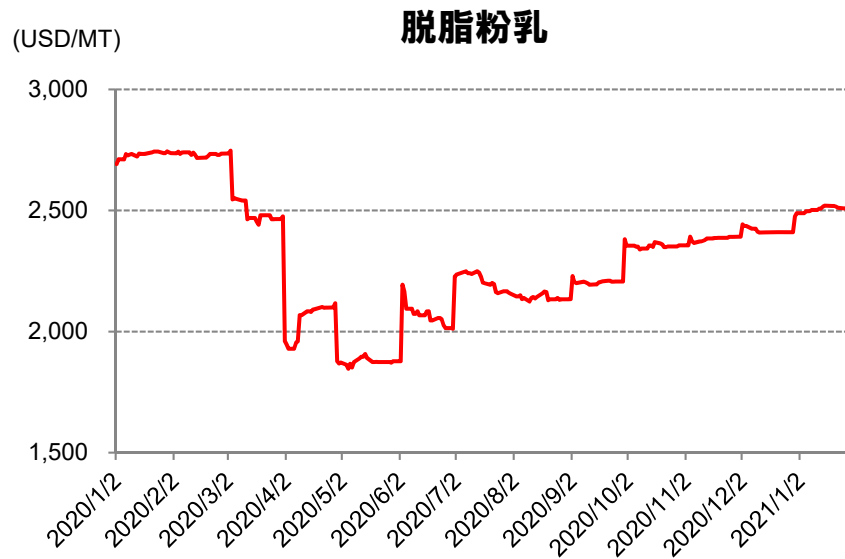
*1: 主な内訳...【食品】原価計上方法変更+68、その他(歩留改善など)+8

【医薬品】原価低減+18

*2: 主な内訳...【食品】原価計上方法変更△68、マーケティング費用等の変動+47、その他費用の変動+2

【医薬品】マーケティング費用等の変動+17、研究開発費+8、その他+1

主要輸入原料相場の動向



meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。